

小渋川の石ころ標本

としぶ1



としぶ5



としぶ9



としぶ13



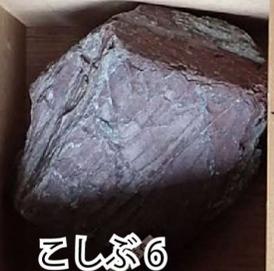
としぶ17



としぶ2



としぶ6



としぶ10



としぶ14



としぶ18



としぶ3



としぶ7



としぶ11



としぶ15



としぶ19



としぶ4



としぶ8



としぶ12



としぶ16



としぶ20



小渋川の石ころ標本ラベル

<p><u>こしづ 1</u></p> <p>石の名前 結晶片岩</p> <p>石の区分 広域変成岩</p> <p>石のとくちょう うすっぺらいシマシマが見える。緑と白のシマシマ。</p>	<p><u>こしづ 5</u></p> <p>石の名前 結晶片岩</p> <p>石の区分 広域変成岩</p> <p>石のとくちょう うすっぺらいシマシマが見える。赤と白のシマシマ。</p>	<p><u>こしづ 9</u></p> <p>石の名前 緑色岩</p> <p>石の区分 変成岩</p> <p>石のとくちょう つやがない緑色。しま模様は見られない。</p>	<p><u>こしづ 13</u></p> <p>石の名前 かんらん岩</p> <p>石の区分 火成岩</p> <p>石のとくちょう 黒っぽい。ほかの石よりも重い(ずっしりした感じ)。粒がはっきりしない。</p>	<p><u>こしづ 17</u></p> <p>石の名前 泥岩(頁岩)</p> <p>石の区分 堆積岩</p> <p>石のとくちょう 粒は見えない。つや消しブラック。泥が固まった岩石。</p>
<p><u>こしづ 2</u></p> <p>石の名前 結晶片岩</p> <p>石の区分 広域変成岩</p> <p>石のとくちょう うすっぺらいシマシマが見える。緑と白のシマシマ。</p>	<p><u>こしづ 6</u></p> <p>石の名前 結晶片岩</p> <p>石の区分 広域変成岩</p> <p>石のとくちょう うすっぺらいシマシマが見える。赤と緑っぽい灰色のシマシマ。</p>	<p><u>こしづ 10</u></p> <p>石の名前 緑色岩</p> <p>石の区分 変成岩</p> <p>石のとくちょう つやがない緑色。しま模様は見られない。「こしづ9」に比べて緑が濃い。</p>	<p><u>こしづ 14</u></p> <p>石の名前 閃緑岩</p> <p>石の区分 深成岩</p> <p>石のとくちょう 花崗岩の仲間 花崗岩に比べ黒い粒(黒雲母や角閃石)が多いので黒っぽく見える。</p>	<p><u>こしづ 18</u></p> <p>石の名前 砂岩などが混ざった泥岩</p> <p>石の区分 堆積岩</p> <p>石のとくちょう 砂岩やチャートの層(白っぽい部分)が変形している(一部ちぎれている)。</p>
<p><u>こしづ 3</u></p> <p>石の名前 結晶片岩</p> <p>石の区分 広域変成岩</p> <p>石のとくちょう うすっぺらいシマシマが見える。白い部分は石灰岩。シマシマの程度が弱い。</p>	<p><u>こしづ 7</u></p> <p>石の名前 結晶片岩</p> <p>石の区分 広域変成岩</p> <p>石のとくちょう うすっぺらいシマシマが見える。白と黒のとても細かいシマシマ。</p>	<p><u>こしづ 11</u></p> <p>石の名前 緑色岩</p> <p>石の区分 変成岩</p> <p>石のとくちょう つやがない緑色。しま模様は見られない。一部キラキラの鉱物(結晶)が入っている。</p>	<p><u>こしづ 15</u></p> <p>石の名前 砂岩</p> <p>石の区分 堆積岩</p> <p>石のとくちょう よく見るとツブツブが見える。黒っぽい石(泥岩)のかけらが入ることもある。砂が固まった岩石。</p>	<p><u>こしづ 19</u></p> <p>石の名前 珪質頁岩</p> <p>石の区分 堆積岩</p> <p>石のとくちょう 少し透明感のある赤っぽい泥が固まった石。</p>
<p><u>こしづ 4</u></p> <p>石の名前 結晶片岩</p> <p>石の区分 広域変成岩</p> <p>石のとくちょう うすっぺらいシマシマが見える。白い部分は石灰岩。シマシマの程度が弱い。</p>	<p><u>こしづ 8</u></p> <p>石の名前 結晶片岩</p> <p>石の区分 広域変成岩</p> <p>石のとくちょう うすっぺらいシマシマが見える。真っ黒と白のシマシマ。</p>	<p><u>こしづ 12</u></p> <p>石の名前 蛇紋岩</p> <p>石の区分 変成岩</p> <p>石のとくちょう 濃い緑色。手触りはツルツルしている。</p>	<p><u>こしづ 16</u></p> <p>石の名前 砂岩・泥岩</p> <p>石の区分 堆積岩</p> <p>石のとくちょう 白っぽい砂岩の層と黒っぽい泥岩の層が互い違いに積み重なっている。</p>	<p><u>こしづ 20</u></p> <p>石の名前 石灰岩</p> <p>石の区分 堆積岩</p> <p>石のとくちょう 表面が粉っぽい。淡い灰色～灰色。やわらかい感じがする。</p>

小渋川の石ころの特徴

全体的に灰色っぽい緑っぽい石もある。

県内の河川で、かんらん岩を見つけることができる河原は小渋川くらいである（少なくとも石ころ標本をつくった9河川では）。

四万十帯と呼ばれる付加体堆積物でできた南アルプスの赤岳付近から流れ出てくるので、全体として砂岩（こしび15・16）が多い。その中にチャートや結晶片岩、石灰岩、緑色岩が混じっている。とても少ないが、運が良ければかんらん岩（こしび13）を見つけることができる。

今回、標本用の石ころを採取した場所が中央構造線よりも上流なのでマイロナイトは含まれないが、下流部ではふつうに見られる。

小渋川の河原



小湊川の石ころ



小渋川と南アルプス中部

赤石岳（写真中央の山）から直線状に流れ下る小渋川。

赤石岳

聖岳

駒ヶ岳ロープウェイより



小渋川と赤石岳

赤石岳周辺には、その名の由来となった赤っぽいチャートが露出する。



大鹿村より